

仙人通信 199 南山(544m)・権現平(568m)

南山は、丹沢山塊の宮ヶ瀬湖の北側に位置する低山で、ハイキングコースのある山でもある。一昨夜に降ったこの冬2度目の雪で、仏果山の右側にある南山も白く雪化粧したのを確認し、誰も踏んでいない新雪を踏締められたらとの思いから登る事とした。

宮ヶ瀬ダムの東側のあいかわ公園の駐車場から南山➡権現平➡鳥居原の北岸道路に下山し、宮ヶ瀬ダムまで湖畔の北岸道路を利用して戻るコースとした。

駐車場の前にある公園の螺旋階段がスタートである。15分程で冒険の森・冒険広場を過ぎた先に南山遊歩道入口の標識がある。標識の下には蛭防止のスプレーが置かれている。

この界限は蛭の多い事でも知られている。コースは、檜林の中に設けられた直径10cm程の丸太を2段にした階段で山頂近くまで続くらしい。10分程で檜林が開けた小さな広場があり、海老名方面が僅かに確認できた。階段を更に5分程登ると葦尾根との分岐、更に20分程で最初のピークとなり、尾根コースとなる。湖側は落葉樹となり高取山や仏果山が、又眼下には濃い緑色をした湖面が覗ける。階段を10分程進むと送電線の鉄塔と四阿屋のある休憩ポイントだ。送電線の先に、白く化粧した奥多摩の大岳山や相模原の橋本辺りも確認できた。更に15分程で西側の開けた南山山頂だ。スタートから1時間10分で到着である。雪化粧した山頂からは遮るものも無く、雪を頂いた高取山・仏果山・三峰山・大山・表尾根・丹沢山から本間の頭等の三峰山や高畑山・蛭が岳から黍殻山・焼山だ。又眼下には静かな宮ヶ瀬湖である。かつて登った山波への思いを重ねてゆっくりと休憩だ。

静かな山頂では、コガラ・コゲラ・フクロウまでも鳴いて安らぎを与えてくれた。

膝丈の都笹で覆われた尾根道を20分で権現様を祀った石の祠のある権現平(東山)である。

湖寄りの展望台からは、東京の渋谷・横浜・東京湾や鋸山・近くの仏果山や平塚の町まで眺める事が出来た。残念ながら座間・海老名辺りは水蒸気が上がり、我が家を見つける事は出来なかった。

四阿屋の休憩所に荷物を置き、誰も歩いていない10cm程の雪の上を歩き、靴が雪を踏音に子供心を燃やし、満喫して歩き回り楽しみました。(今日の目的達成!・・)

杉・檜林を15分程進むと湖を渡って張られた高压線の鉄塔下である。送電線の先には、大菩薩から連なる小金沢の山脈も確認できた。小さなピークを3コ越え、35分程で北岸道路へ降りた2時間50分の山旅でした。湖畔に沿った道路には4本のトンネルと15橋が架かり、60年前(高校生の頃)に訪れた中津溪谷が綺麗であった事を思い出しました。

又湖の上に高取山から蛭が岳までの雪化粧した山脈を眺めながら約1時間25分で車に戻ることが出来た4時間10分(丁度2万歩)のハイキングとなりました。(R1. 12.24)

南山山頂

宮ヶ瀬湖と丹沢

権現平山頂

権現平の雪化粧

